

令和元(2019)年度学校と地域の連携推進セミナー 実施報告②

実施日：令和元年 10 月 1 日（火）

○ 事例発表

「学校と地域がつながる取組～このようなことができる～」

高知県立山田高等学校 教頭 市原 庸寛 氏
奈良市教育委員会事務局教育部 地域教育課地域学校連携係
地域学校連携推進員 川原 元子 氏



今回は、県立学校の立場から、高知県立山田高等学校教頭の市原様に、そして行政の立場から、奈良市教育委員会事務局教育部地域教育課地域学校連携係 地域学校連携推進員の川原様に来ていただきました。市原教頭先生は現任校での勤務が3年目となります。また、川原様は地域学校連携推進員として2年目となります。

前半は、お二人から様々な取組について事例を中心にお話いただきました。市原教頭先生からは、地域学校協働活動を積極的に取り入れながら、高大連携の強化と地域への貢献活動を進めている事例についてお話しいただきました。また、川原様からは、奈良市の地域教育推進事業や地域コーディネーターの取組について、具体的な話を伺うことができました。

後半は、グループ協議「つながりを深め、活動をより充実させよう」を行いました。その後、受講者からの質問に対し、市原教頭先生、川原様にお答えいただきました。地域との連携プログラムづくりや教員の関わり方、地域の合唱クラブの活動による居場所づくり、地域コーディネーターの選出方法など、とても参考になる話が伺えました。

市原教頭先生、川原様からは学校と地域がつながる取組の素晴らしい事例について発表していただきました。学校と地域双方が、相手を尊重し合いながらよりよい関係性を築き、今後の活動の充実につなげていければと思います。

【受講者の感想から】

- ・総合的な学習の時間、探究活動を核として、学校から発信することや、学校を支援していただく活動につなげていくことが効果的であることが分かりました。
- ・地域と結びついた地域課題探究学習と教育課程検討委員会の学力向上の施策が車の両輪のように上手に回っていると感じました。
- ・コーディネーターの方が実際に活躍されている奈良市の事例は大変参考になりました。コーディネーターとしての役割と人材の確保について、目の向け方に気付かされました。
- ・グループ協議でも課題になった地域コーディネーターの選出の仕方ですが、質問の回答にあった”つながりたい”と思っている人を探すということについて、アンテナを高くしていきたいと思いました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

